

貸借対照表の構造が答えを教えている

例

現金	300万円	買掛金	900万円
売掛金	1200万円	借入金	1650万円
商品	900万円		
車両	600万円		
機械	1500万円		
		負債合計2550万円	
		資本金	1500万円
		利益剰余金	300万円
		当期利益	150万円
資産	合計4500万円	純資産合計	1950万円

かりかた



かしかた



貸借対照表は、

$$\text{資産} = \text{負債} + \text{純資産}$$

$$4500\text{万円} = 2550\text{万円} + 1950\text{万円}$$

上記の等式が必ず成立し、貸借対照表と言われるゆえんです。

資産が増えると、必ず、負債か純資産が増加します。

利益の出ている場合や増資した場合は純資産が増加しますが、赤字の時は純資産はかえって減ってしまいます。

資産増加した場合、純資産が増加しなければ、増えるのは負債ということになります。

車をローンで買ったと同じ状況なのです。